

高齢者が元気で生き生きと過ごすために

表 1 本町の人口の推移（福島県現住人口調査：10月1日現在）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年
総人口	19,717	19,146	18,839	18,874	18,178	17,009	15,805	15,691
高齢者人口	2,546	2,876	3,528	4,252	4,750	5,006	4,890	4,810
高齢化率(%)	12.9	15.0	18.7	22.5	26.1	29.4	30.9	30.7
前期高齢者比率(%)	1,621	1,845	2,208	2,614	2,663	2,358	1,988	1,879
後期高齢者比率(%)	8.2	9.6	11.7	13.8	14.6	13.8	12.6	12.0
40～64歳人口比率(%)	926	1,031	1,320	1,638	2,087	2,648	2,902	2,931
65歳以上人口比率(%)	4.7	5.4	7.0	8.7	11.5	15.5	18.4	18.7
65歳以上人口比率(%)	6,929	6,661	6,445	6,362	6,037	5,666	5,318	5,341
65歳以上人口比率(%)	35.1	34.7	34.2	33.7	33.2	33.3	33.6	34.0

本町の人口は23年10月1日現在で1万5691人です。65歳以上の高齢者人口は、17年以降、23年まで減少傾向にありましたが、今後は団塊の世代が65歳を

本町の高齢化の実態は

迎えることから増加が予想されます。それに伴い、高齢化率も上昇すると思われます。

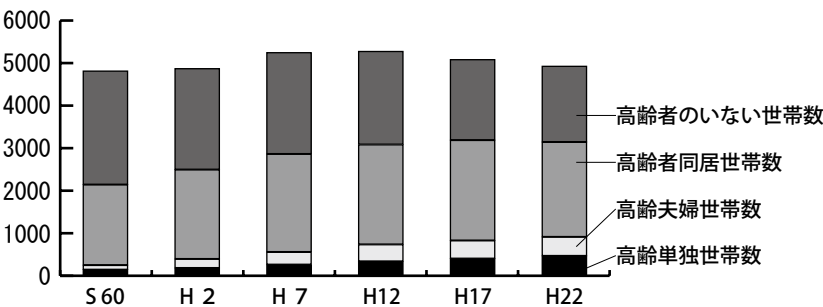
本町の世帯数は、図1のとおり12年まで増加傾向にありましたがその後は減少しています。しかし、高齢者夫婦世帯数や高齢者単独世帯数は年々増加してきており、今後もこの傾向が強まるものと予測されます。

介護の認定者数については、12年4月の介護保険制度施行開始以来増加してきましたが、近年は認定者の伸びが穏かになり、23年9月末では911人となっています。

介護サービスには、在宅で利用するサービスが中心の居宅サービスと、施設に入所することによる施設サービスがあります。また、可能な限り住み慣れた自宅や地域で生活できるように、柔軟なサービスの提供を行う地域密着型サービスもあります。

居宅サービスでは、要介護状態が軽度の人（要支援1・要支援2）の利用と、要介護の人の短期入所療養介護（ショートステイ）の利用が増えてきています。施設サービス利用者については、特別養護老人ホームや老

図 1 世帯数の変化（国勢調査）



人保健施設が増加していることから利用者の増加傾向にあり、入所希望者も増えてきています。

元気な老後を過ごすために

本町では3人に1人が65歳以上と高齢化が進んでいます。高齢者の皆さんは「家族や周囲

の人の世話になりたくない」と思っている人が多いようです。他の人の世話にならずに元気で過ごすためには、適切な食事、適度な運動、友人や地域の人との交流などが大切です。

町では、仲間と一緒に笑いながら体を動かす場として「元気ハツラツ」にここクラブ、カメリーナ、川桁体育館や中ノ沢体育館での介護予防運動教室などを開催しています。

参加した人からは「楽しかった」「食事がおいしく感じられるようになった」「関節の痛みが和らいだ」「夜、ぐっすり眠れるようになった」などの感想が寄せられています。

「膝が痛くて運動は苦手」「畑仕事はやるけど運動はしていない」「出かけたいくどきっかけがなくて」などと考えている人は、ぜひ参加してみてください。3カ月後には楽に動けるようになりますよ。

24年度の日程は、後日広報などでお知らせする予定です。ぜひ申し込んでください。

▼相談・問い合わせ先

町保健福祉課 高齢者福祉業務 電話(62)2115



大好きなパパとママに抱っこされて、にっこり笑顔の翔天くん

「周りのみんなを笑顔にできる、愛される人に育ってほしい」とパパとママは願っています

渡部 翔天くん

平成23年7月生まれ
～西館
真昌さん・真里さん夫婦の長男

人形やおもちゃなど、目についたものはとりあえず口に……。いろいろなものに興味津々の翔天くん。抱っこされると、ぐんぐんと足を突っ張って遊ぶ元気いっぱいの子です。

「文武両道、何でも挑戦してほしい。3歳までは褒めて伸ばします」とママの真里さん。「自分が好きだったので、サッカーをやらせたい」とはパパの真昌さん。二人は笑顔で翔天くんを見つめます。

おじいちゃんやおばあちゃんも子育てに積極的。「きかん坊なくらいじゃないとつまらない」「普通が一番」と、家族みんなで見守りを出し合うその中心にはいつも翔天くんの姿が。翔天くんが大好きなのは、みんな一緒のようです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。電話(62)2111

Circle introduction

集中した表情で机に向かい、輝く細かいビーズを一つ一つつなげていく。ビーズサークルトゥインクルの皆さんの活動風景です。会員は現在16人、月1回、会津若松市から講師を招き、作品づくりに励んでいます。学びいなまつりでは、体験コーナーや作品の販売などを実施。売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付するなどの活動もしています。「きれいなものが完成するとうれしいですね。皆さんが身につけているアクセサリも自分で作ったものですよ」と笑顔で話すのは代表を務める渡部公子さん。「難しい作品に挑戦して、作品ができた時の達成感が一番の楽しみ」と会員の皆さんも声を揃えます。

活動に興味のある人や見学希望者は、学びいなに連絡してください。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。電話(62)2111

ビーズサークル トウインクル (渡部 公子代表)



(写真左) 作製中のアクセサリーを手にする宇南山順子さん
(写真右)「作品ができた時の達成感が一番の楽しみ」と会員の皆さん

真剣な表情で作品製作に没頭する会員の皆さん

